

平成 27 年度見学研修会報告

今年度の見学研修会は、平成 27 年 8 月 7 日（金）に、船橋港に係留中の「元南極観測船 SHIRASE5002」で行われました。その内容の概略を報告します。



1 開会

- ・ 部会長挨拶

磯辺高等学校校長
齋藤 茂 先生

- ・ 会場担当者挨拶・ 船内諸注意

一般財団法人 WNI 気象文化創造センター
第 37 次日本南極地域観測隊
三枝 茂 様

2 講義

「元南極観測船 SHIRASE と

その数字について」

一般財団法人 WNI 気象文化創造センター
第 37 次日本南極地域観測隊
三枝 茂 様

南極観測船「しらせ」として活躍した現役時代と、現役を引退してから現在に至る「SHIRASE5002」としての活用状況についてご説明いただきました。また、しらせにまつわる「数字」に着目したクイズを交えて、しらせと南極観測について、大変興味深く教えていただきました。さらに、参加者からの質問にも時間を延長して丁寧にお答えいただきました。

3 船内施設見学

2 班に分かれ、船内各所を見学しました。35 度を超える暑い中でしたが、大変興味深いお話を、ユーモアを交えてご説明いただきました三枝様、本間様、本当にありがとうございました。

主な見学場所：

ヘリ甲板、ヘリコプター格納庫、05 甲板、艦橋（ブリッジ）、CIC 室、食堂、厨房、観測隊員居住区、医務室、理容室、船員室を利用した各展示 等



氷を割って進むチャージングという航法を効率よく行うため、3 系統の原動力を操作します。



長い航海では、野菜が不足しがち。厨房ではもやしの栽培を行っていたそうです。なお、毎週金曜日の昼食はお決まりのカレーライスです。



観測隊員の船室展示です。パソコンや荷物、ベッドにまで、激しい揺れに備えて固定ベルトがついています。なお、しらせの揺れの最大傾斜角度は左に 53° 、右に 41° だそうです。



4 質疑応答

質疑応答の時間でしたが、三枝様から午前中の講義の補足として、砕氷船や北極圏航路についてお話いただきました。



5 閉会

・副部長挨拶

市立千葉高等学校校長
三木 千恵子 先生